



2020年6月11日

SOMPOホールディングス株式会社

「ESG 情報開示研究会」への参画について

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO執行役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、2020年6月下旬に発足予定の一般社団法人 ESG 情報開示研究会が設立する「ESG 情報開示研究会」（以下「本研究会」）に参画することを決定しました。本研究会は、発足時点は民間企業19社で構成し、社会の持続的な発展と、企業が自らの価値を高め成長することを調和させる仕組みの創造をめざし、ESG 情報開示に関わる研究活動を行います。当一般社団法人の代表理事には、青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授 北川 哲雄氏が就任し、研究を監修する座長を兼務します。

1. 本研究会設立の背景と狙い

近年、資本市場において、環境・社会・ガバナンス(ESG/Environment、Social、Governance)の観点で投資判断・評価を行う ESG 投資が活発化しており、同時に、企業側では ESG に関わる情報開示や機関投資家をはじめとするステークホルダーとのエンゲージメントを効果的かつ効率的に行うことが課題となってきました。本研究会設立は、ESG 情報開示・エンゲージメントのさらなる発展に向け、ESG 情報開示のための指標の検討やステークホルダーが参画するプラットフォーム構築などをはじめとしたインフラを整備することで、企業とステークホルダーの相互理解を深め、ESG に取り組む企業のさらなる企業価値の向上に貢献することを狙いとしています。

2. 本研究会の特徴

本研究会は、ESG 情報開示を行う企業だけではなく、国内外の機関投資家や四大会計事務所グループのプロフェッショナルなど様々なステークホルダーが参加することで、ESG 情報開示のあり方を多様な視点から検討します。また、実務に活用可能な実践的なフレームワークの作成をめざし、机上での検討に留まらず、実際の ESG 情報開示業務に沿った実証まで行うことを予定しています。

3. 本研究会発足時の参画企業(50音順)

味の素株式会社

EY Japan

KDDI 株式会社

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

武田薬品工業株式会社

東京電力ホールディングス株式会社

PwC Japan グループ

株式会社みずほフィナンシャルグループ

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

アセットマネジメント One 株式会社

花王株式会社

KPMG ジャパン

ゴールドマン・サックス証券株式会社

SOMPOホールディングス株式会社

有限責任監査法人トーマツ

日本生命保険相互会社

株式会社日立製作所

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

4. 研究内容

従来の ESG 情報開示の国際的なフレームワークでは評価の難しかった日本固有の特色などを加えたモデル指標の探究や、効果的かつ効率的な情報開示・エンゲージメントを行うためにどのようなインフラを整備すべきかについてまとめていく予定です。

5. 今後の展望

研究活動の期間は2年間を予定しています。研究成果は報告書としてまとめ、国内外の企業・機関投資家などに広く活用してもらうために公表します。研究期間中は、研究成果を紹介するイベントや情報発信を積極的に実施すると同時に、参加者も随時募っていきます。



以上